

4 日田玖珠連携都市圏の将来像と都市づくりの方針

(1) 目指す将来像

清らかな川、豊かな森、薫る歴史、自然と生活が調和する、うるおいの河川都市圏づくり

- ・山や河川の自然と歴史の魅力をいかした美しい山国として、観光ネットワークづくりを目指します。
- ・流域や高速道路を軸として、安心して生活できる都市圏を目指します。

(2) 都市づくりの基本的な考え方

① 圏域構造の考え方

圏域構造の概要

- ・玖珠川に沿って日田市街地～玖珠市街地を連絡する国道 210 号とこれと平行する大分自動車道を都市間交流軸とします。
- ・日田、玖珠市街地を盆地内の田園が取り囲み、さらにその周囲を、標高 1,000m を超える山々が取り囲みます。

各都市の役割

- ・日田市は、市街地の集積や広域道路網の活用により周辺都市・地域との結びつきを保ち、強化することによって、圏域の中心的、先導的な都市としての役割を果たします。
- ・玖珠町は、観光・レクリエーション施設を活かした産業振興、生活環境の充実を図り、自然と融合するゆとりあるライフスタイルを実現する観光・生活都市の形成を図ります。

② 土地利用の考え方

- ・効率的・合理的な土地利用を目指し、必要な都市機能の誘導及び都市機能の周辺に居住の誘導を図り、盆地の地形特性をいかしたまとまりのある市街地形成を進めます。
- ・歴史的街並みや筑後川流域としての多彩な自然資源、文化資源を活かしたまちづくりに資する土地利用を図ります。
- ・河川と田園、周辺の山々と調和する都市環境づくりに資する土地利用を進めます。
- ・山々に囲まれた盆地状の地形であり集中豪雨等による低地の浸水や氾濫のほか、土砂災害等の災害が懸念されるため、災害リスクの高い区域においては、施設立地の抑制や災害対策の充実など、適切な土地利用の転換を図ります。

③ 都市施設の考え方

- ・都市間の交流を支える基盤として九州横断自動車道、国道 210 号、国道 212 号、国道 387 号を位置づけ、連携機能の強化を進めます。また、中津日田道路の整備促進、県外、圏域外との交流を促進する幹線道路の整備の検討・促進を行います。
- ・JR 久大本線や路線バス等の公共交通を確保・維持し、誰もが各拠点間にアクセスできる

公共交通ネットワークを構築するとともに、情報通信技術を活用した交通需要マネジメント、自動運転や次世代型の自動車のシェアリングシステムなど、新たな交通システムの導入について関係機関と連携して検討を進めます。

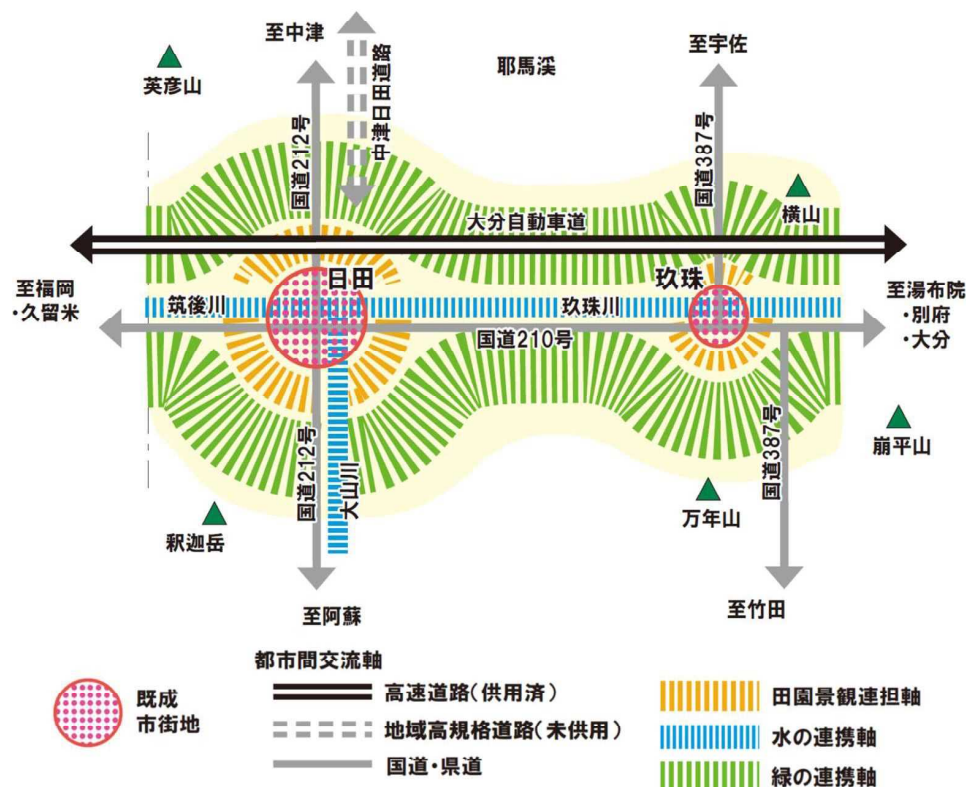
- ・市街地周辺の田園環境や丘陵地、河川等を活かした魅力あるまちづくりを目指します。

④ 自然環境保全の考え方

- ・英彦山、釈迦岳、万年山など 1,000m を超す山々やそれにつながる丘陵地、三隈川、玖珠川などの河川、盆地に広がる田園について、広域的な保全を図ります。
- ・市街地を取り囲む山々と、市街地の中央を流れる河川によって形成される美しい景観を保全するとともに、市街地における公園整備や都市を形成する緑として必要な市街地内農地の保全、グリーンインフラの取組を推進します。

⑤ 都市防災の考え方

- ・本都市圏は、周囲を山々に囲まれるとともに、市街地中心部を河川が流れるため、豪雨時等には市街地縁辺部等で土砂災害による被害が、市街地中心部等で洪水による被害が懸念されます。また、地震発生時においても被害が懸念されます。
- ・災害が懸念される区域では、ハード・ソフトの施策を柔軟に組み合わせて、多重防御による安全性の確保に努め、強靱な県土づくりを持続的に推進します。



■ 日田玖珠連携都市圏の圏域構造図